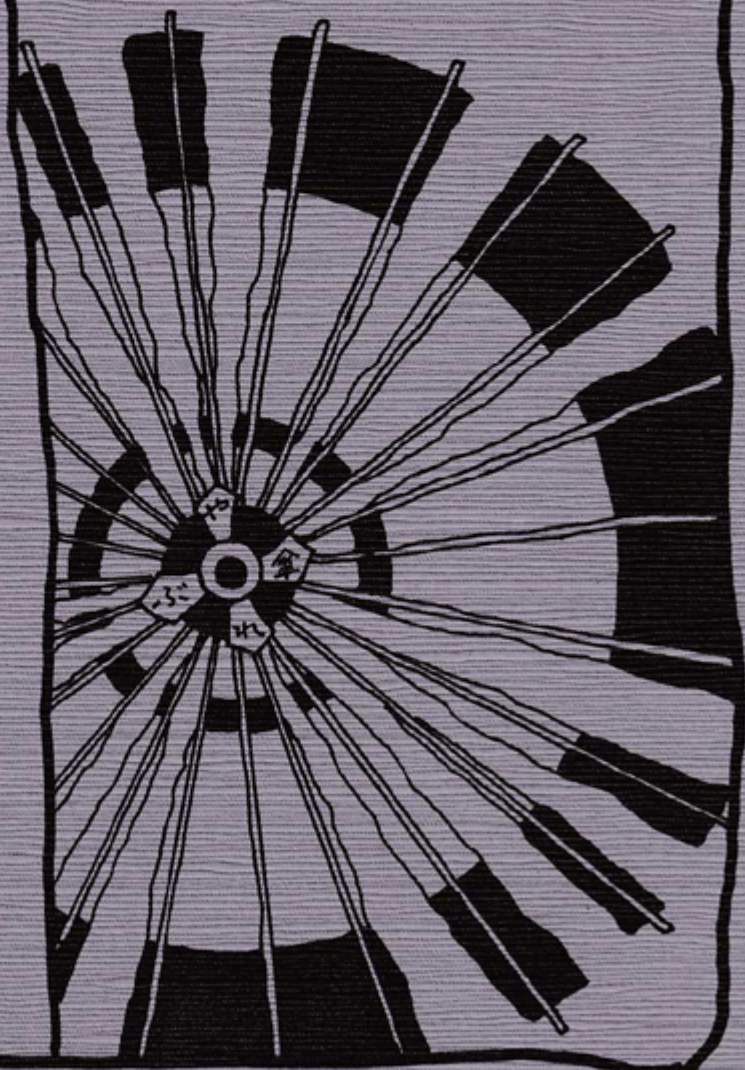


やぶれ傘



一〇二号

二〇一八年六月

まくなぎの向うの水のゆれてをり 根橋宏次
 窓小さき家並み昼咲き月見草 大島英昭
 老師見舞へば夏潮のこゑ近き 藤井美晴
 まさをなる空に風あり花ミモザ 廣瀬雅男
 チョコミントアイスクリーム日雷 きくちきみえ
 自転車が来たよとの声豆の花 丑久保勲
 奥津城へ続く石段落椿 瀬島酒望
 本尊に向かひ右手に花御堂 渡邊孝彦
 寝足りたる海辺の宿の浅蜷汁 安藤久美子
 裏口のばたと開く夏隣 小山唄枝
 青嵐犬の抜け毛の飛んで行く 白石正躬
 狭ければ背中あはせに花むしろ 青谷小枝
 遮断機のパコンと落ちし春の昼 天野美登里
 水槽の水入れ替へる目借時 秋山信行
 青芝に寝転んで見る万華鏡 有賀昌子

抄 集 句 傘 れ ぶ や

大 崎 紀 夫 選

憲法記念日風に吹き飛ぶ日章旗 松村光典
 縄電車降りる子のゐる花の下 上林富子
 木村屋のあんぱんを買ふ日の盛 倉澤節子
 ガレージの高き天井燕の巢 佐藤稲子
 ラリー続くテニスコートに散る桜 時田義勝
 公園と青田一枚隣り合ふ 中島和子
 春耕の人にバス停尋ねけり 萩原久代
 診察台の小さな枕春の昼 広瀬 済
 花の寺仏足石に日のあたる 松本善一
 どつと夏手足の長き女の子 武藤節子
 席詰めて仲間とランチ豆の花 山本久枝
 花吹雪賓頭虚様を隠しけり 浅嶋 肇
 ランドセルに夢いつばいを入れる春 安齋正蔵
 水筒の水ラッパ飲み夏来る 岩藤礼子
 野良猫のまた母となる黄水仙 奥田温子

春の蠅

大崎紀夫

しやぼん玉つぎつぎはじけゐて真昼
おぼろ夜の羽田航空管制塔
亀鳴いてゐる溜め池の向う側
タクシーの出払つてゐる目借時
釣り餌にひねもす春の蠅たかり

差し潮に屋形の揺るる夜の桜
虻うなるこゑは目の前すこし上
海よりの雲低く来る夏あざみ
下野の田をひらひらと泳ぐ蛭
椅子すこし廻して鞆とつて夏
漆かく様子を少し近くより
もやもやと雲ゆく昼の芥子真つ赤

まくなぎ

根橋宏次

オツペケペーオツペケペツポー桜ちる
海女小屋の前はあらせいとう畑
永き日のガードレールを跨ぎけり
赤べこの頭のゆるる目借時
虻がきて旧町名を思ひ出す
昼飯のしまひに柏餅ひとつ
じやがたらの花はここいら白ばかり
青嵐橋の半ばにさしかかり
まくなぎの向うの水のゆれてをり
波除けの見ゆる夾竹桃の道

虻

大島英昭

川波の高き日雀交りけり
畦焼の跡がまだらに鳩が鳴く
校門に虻が来てゐる二時間目
信号を渡るぺんぺん草鳴らし
工場の敷地にクローバー盛り
麦畑の向うに人がゐる真昼
夏草の中に斜めに駐車する
トランクを開けつぱなしに胡瓜植う
あを嵐石の鳥居を潜るとき
窓小さき家並み昼咲き月見草

立葵

藤井美晴

藤の花真夏のやうな日が差しして
お休みのパスタ屋さん
に燕来る
くちなしの花にほふ耳鼻咽喉科
往還に坐り込みけり蟾蜍
墜ちて地を這ひずる昼の蚊喰鳥
南天の花にモツ焼くにほひ来る
立葵校庭に砂厚く撒き
老師見舞へば夏潮のこゑ近き
夏潮に向かひ造船台二連
棧橋に昼の灯が点く走り梅雨

花ミモザ

廣瀬雅男

裏道も人出や春の歌舞伎町
街中に鶯を聞く日曜日
鳩の皆地に居て春の嵐かな
まさをなる空に風あり花ミモザ
ベランダに雀二羽ゐる日永かな
墨堤の真昼を蝶の低く飛び
鰐口を鳴らす子の居て花楓
水たつぷりと盆栽の松の花
あめんぼの下を抜けゆく鯉の影
遠退きてまたほととぎす鳴きにけり

日 雷

きくちきみえ

蚕 豆 の 莢 に 数 へ る 豆 の 数
コ ン ビ ニ の 裏 手 に 枇 杷 が な つ て ゐ る
銀 蠅 の 上 り き つ た る 襖 か な
チ ヨ コ ミ ン ト ア イ ス ク リ ー ム 日 雷
煙 草 屋 を 三 尺 離 れ 俵 菜 莢
ハ ン ド ル に 足 か け て 寝 て ゐ る 薄 暑
亡 骸 の 蜂 は 地 に 飛 ぶ 形 し て
匙 の 背 に 丸 く 潰 さ れ ゆ く 苺
ヒ ヤ シ ン ス コ ッ プ の 中 に 根 を 伸 ば し
栄 螺 に は 栄 螺 の 蓋 が ど ん ぴ し や り

豆の花

丑久保勲

出航のベルに駆け足山桜
古書店に旧約聖書春の昼
航跡は春の海へと伸びにけり
山門の三台の柵花馬酔木
自転車が来たよとの声豆の花
下敷きに半紙を合はす青簾
校門に母親が待つ花水木
クリムトの「接吻」を観る夏館
塔頭へ楓の花を見上げつつ
上野駅公園口を出て薄暑

落椿

瀬島洒望

誦経しておもむろに厨子開帳す
空き瓶で囲みし花壇母子草
取れかけし釘をかがる百間忌
朽ちさうな木橋渡れば花菜畑
烏骨鶏鳴き畑には葱坊主
柵に沿ひ仔馬は草を食んでゐる
親に似て来たる気がして鯉幟
奥津城へ続く石段落椿
昼過ぎの初夏の日差しは寄宿舎に
造園の石積みれをり藪枯し

花御堂

渡邊孝彦

校庭の広々として入学児
擁壁の付け根に多く鼓草
本尊に向かひ右手に花御堂
直角に曲がる水路や桃の花
春落葉積む水飲み場流し口
春塵に工事現場の粉塵が
アルミ板下に据ゑられ燕の巢
一面の雲に明るさ花は葉に
電柱の影青麦を突き抜けて
閑伽桶の五段に積みまれ花棟

安藤久美子

はこべら

桜吹雪ジャングルジムをすり抜けて
ゆらゆらと塀のむかうをしやぼんだま
寝足りたる海辺の宿の浅蜷汁
はこべらのはびこつてゐる植木鉢
春惜しむなんじやもんじやの花の寺
茉莉花を窓の近くに夜を眠る
薄暑光射しこむ画家のアトリエへ
母の日に二度のチャイムや生花便
新茶淹れさあその後にはエトセトラ
淀みたる日本橋川街薄暑

蛾

小山唄枝

うららかやぽかりと浮かぶティーバック
ワツフルの溝にはちみつ春惜しむ
裏口のぼたんと開く夏隣
O P E N 文字の点滅暮の春
しつけ糸付きたるままに夏立てり
ちりちりと泡は流しへ夏の宵
文ふみを書くそばを小さな蛾が飛んで
鱈天やふと思ひ出す父のこと
ボクシングジムは盛況夏の雨
走り梅雨お弁当屋は樟の下

青 嵐

白石正躬一

百 田 で 寺 の 鐘 撞 く 春 の 山
土 割 つ て じ や が い も の 芽 が そ ろ ひ け り
大 根 の 花 を 見 た ま ま 帰 り け り
芽 吹 か ん と す る 木 の 幹 を 手 で た た き
山 径 の 尽 き て 藪 こ ぎ 山 つ つ じ
ア ヲ ダ モ の 花 の も じ や も じ や 風 を 受 け
青 嵐 犬 の 抜 け 毛 の 飛 ん で 行 く
仏 の 座 を 踏 み な が ら 押 す 猫 車
嫁 菜 打 つ 雨 だ ん だ ん と 太 く な り
麦 の 秋 川 の 向 か う は 埼 玉 県

花むしろ

青谷小枝

狭ければ背中あはせに花むしろ
南無大師遍照金剛さへづれり
並ぶ子に早苗饗餅の大きくて
あひづちにあひづち打ちて日の永し
矢車草眠る子の手に萎れたる
小学校前の駄菓子屋さへづれり
山桜暗き蕎麦屋に地酒酌み
蔵の町に蔵の銀行つばくらめ
蜷の身せせる飯屋のカウンター
はなみづき坂の両側大使館

春の昼

天野美登里

遮断機のパコンと落ちし春の昼
蕨取る牛の鳴き声聞きながら
木洩れ日は川底に落ち夏隣
午後からは雨止むといふ豆の花
半夏生草湖への風に揺れつづく
卯の刻の寺の鐘きく立夏かな
空青く雪加の騒ぐ干拓地
豆飯のおにぎりを持ち海辺まで
山峡の崖に雨岩煙草
文鎮はガラス作りや柏餅

目借時

秋山信行

自 転 車 の 子 に 路 ゆ づ る 黄 水 仙
ふ る 里 の 橋 は 古 り 果 て 柳 鮠
弥 陀 堂 を 背 に し て 下 る 花 菜 雨
口 開 け て 緋 鯉 寄 り く る 太 鼓 橋
人 ひ と り 石 投 げ て ゐ る 春 の 浜
無 住 寺 の 庭 に 降 り た る 春 落 葉
用 水 に 丸 太 の か か る 蛙 の 子
水 槽 の 水 入 れ 替 へ る 目 借 時
さ き た ま の 古 墳 め ぐ り て 草 だ ん ご
腕 白 が ば ば の 文 よ む 端 午 の 日

青 芝

有賀昌子

花なづな夫にちらりと幼顔
苗札はみんなひらがなばらすみれ
桜薬降る城跡のなぐり書き
パイの菓子さくつとあがる花の昼
花の種蒔いて呪文をたつぷりと
過去帳に妻の名「をんな」春寒し
春暑し大鯉は身をくねくねと
サッカーのボールぽつんと青芝に
青芝に寝転んで見る万華鏡
びいびいと携帯電話更衣

かたつむり

松村光典

交番の横の木蓮尖り出す
つつじ咲き犬が三匹散歩する
アルメニアアラト山に雪残る
筍のどさりと届く朝に夜に
のつたりと京の路這ふかたつむり
満月の京に迷ひて四月尽
大磯の浜辺賑はふ五月かな
紫陽花の重きかうべを手で掬ひ
風吹けば押さへ抑へて夏帽子
憲法記念日風に吹き飛ぶ日章旗

◇ 7月・8月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
7月	3日(火)	AM9:00	こなから会	あいパル	WEP編集室
	3日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン4	瀬島 孟
	4日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン3	丑久保 勲
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン2	丑久保 勲
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	28日(土)	AM10:00	楽天会	あいパル	廣瀬雅男
	28日(土)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
8月	3日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	3日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン3	丑久保 勲
	6日(月)	PM7:00	ぎんなん会	武蔵浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(火)	AM9:00	こなから会	あいパル	WEP編集室
	7日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン6	瀬島 孟
	18日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	19日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	鎌倉・瑞泉寺	丑久保 勲
	25日(土)	AM10:00	楽天会	あいパル	廣瀬雅男
	25日(土)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。
 8月の「ぎんなん会」は武蔵浦和コミセン第1集会室です。
 8月19日(日)の吟行。集合は10時。集合場所はJR横須賀線・鎌倉駅改札口(若宮大路のある方)。吟行地は瑞泉寺。句会場は鎌倉生涯学習センター第6集会室。

◎連絡先 瀬島 孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856